

ておはしますを心ぐるしく、殿も大宮門上東も思ひ申させ給ふに、もしうちをとて宮もいでおはしましなばいかゝあらん、さあらぬさきに東宮にたてたてまつらばやとなんおほせらるなり、さればおしてとられさせ給へるなりなとのみ申を、まことにしもあらざらめせ、げに事のさまもよもおほゆまじげなればにや、きかせ給ふ御心ちはいとうきたたるやうにおぼしめされて、ひたぶるにとられんよりはわれとやのきなましとおぼしめすに、又たか松どの、みくしげ殿まゐらせ給ひて、殿のはなやかにもてなしたてまつらせ給ふべかなりとて、れいのことなればよの人さまと、さだめ申を、皇后宮きかせ給ひていみじうよろこばせ給ふを、東宮はいとよかるべき事なれど、さだにあらばいと、我おもふ事えせじ、なほかくてえあるまじくおぼしめされて、御母宮にまかす、なんおもふと聞えさせ給へば、さうなりやいと、あるまじき御事なり、見くしげどの、御ことをこそまことならばす、みきこえさせ給はめ、さらにくおぼしめしよるまじき事なりと聞えさせたまひて、御ものけのするなりと御いのりをもさせ給へど、さらにおぼしめしと、まらぬ御心のうちを、いかでかよひともき、けん中さて東宮はつひにおぼしめしたちぬ中皇后宮にもかくとも申させ給はず、たゞ御心のまゝに殿に御せうそく聞えんとおぼしめすに、むつましうさるべき人もものし給はねば、中宮の權大夫殿のおはします、四條の坊門としの洞院とは宮ちかきぞかし、そればかりをこと人よりはとやおぼしめしよりけん、藏人なにかしを御つかひにてあからさまにまゐらせ給へどあるを、中略まゐらせ給ふほど日もくれぬ中見まはさせ給ふには、の草もいとふかく、殿上のありさまも春宮のおはしますとは見えす、あさましうかたじけなげなり中あさがれひのかたいでさせ給ひて、めしあればまゐり給へり、いとちかくこちとおほせられて、ものせらるゝ事もなきに、あないするもは、かりおほかれど、おとゞにきこゆべき事のあるを、つたへものすべき人